



## 図書館講座開催しました

3月16日(木)、ボランティアサークル「おはなしの森」の遠藤順子さんと長谷川真由美さんを講師にお迎えして図書館講座を開催しました。当日は、一般の方や卒業生を含めて22人が参加し、読み聞かせと紙芝居の基本についてのお話をうかがいました。この講座を受けた生徒を中心に、来年度の図書館ボランティアや読み聞かせ会に積極的に参加してくれることを期待しています。参加者の感想からいくつか紹介します。

(1年)

- ・登場人物になりきるのが少し難しかったけど、みんなの前でできていい経験になった。読む機会があったら、またやりたい。楽しかった。

(2年)

- ・保育園の頃や小学校の頃に読み聞かせをしていただいて、久しぶりに聞いてとても懐かしい気持ちになりました。実際に読み聞かせをしてみると思った以上に難しく、特に声色を変えることが大変でした。役になりきって読むことは大変でしたが、絵本と紙芝居の違いを聞いたり体験したりすることができて、とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・改めて絵本や紙芝居の良さを知ることができた。たくさんの学びがあったので、どこかで読み聞かせをする機会があったら、このことを生かし、披露できたらいいと思う。

(一般)

- ・絵本と紙芝居の違いがよくわかった。絵本は声色を使わない、紙芝居は演じるというのも初めて知りました。紙芝居は、引き抜き方がむずかしいと思っていたので、今日教えてもらってよかったです。絵本も紙芝居も、おもしろそうなものを紹介していただき、楽しかったです。
- ・途中からの参加でしたが、分かりやすいお話で、楽しむことができました。最後の絵本を聞かせてもらったとき、子が親に期待するのと同様に親も子を愛しているのだと感じさせられました。良い機会を2人で頂けて、感謝しております。

(職員)

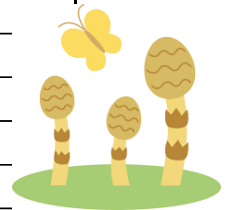
- ・はずかしがりながら紙芝居を読んでもくれた生徒さんたち、お疲れ様。「おはなしの森」の遠藤さん、長谷川さん、子どもたちにわかりやすく、そして丁寧にアドバイスしていただいて、ありがとうございました。
- ・読む前の準備の大切さを改めて感じた(帯やくせ)。はっきりとゆっくり読む。タイトル・作家の紹介も忘れずにする。授業にも活かしたい。



## 新着図書一覧(本屋大賞ノミネート本)

2023年本屋大賞ノミネート作品を揃えました！！本屋大賞とは、「全国書店員が選んだいちばん！売りたい本」のことです。書店員の投票だけで選ばれる賞ですので、書店員自身が「面白かった」「お客様にも薦めたい」「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票します。今回の書籍とともに桂桜高校図書館では過去の本屋大賞ノミネート作品も配架していますので、こちらも是非読んでみてください！

	表示書名	著者表示	出版者
1	ラブカは静かに弓を持つ	安壇／美緒 // 著	集英社
2	月の立つ林で	青山／美智子 // 著	ポプラ社
3	光のどこにいてね	一穂／ミチ // 著	文藝春秋
4	汝、星のごとく	凧良／ゆう // 著	講談社
5	川のほとりに立つ者は	寺地／はるな // 著	双葉社
6	#真相をお話しします	結城／真一郎 // 著	新潮社
7	君のクイズ	小川／哲 // 著	朝日新聞出版
8	宙(そら)ごはん	町田／そのこ // 著	小学館
9	方舟	夕木／春央 // 著	講談社



※ これに以前発表された、直木賞候補作の「爆弾」(呉 勝浩//著)が加わって、10冊のノミネートとなります。

※ なお、2023年本屋大賞の発表は4月12日(水)です。

### 《図書館からお知らせです》

春休み中は、蔵書整理のため図書の貸出しは行っていません。  
新年度から貸出しを開始します。

